

Rotary Club of Sanuma
2024-2025年度
VOL 61

佐沼ロータリークラブ
2024-2025テーマ

ロータリーの活動で
自分を変化させよう

ロータリーのマジック

2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

会長 太田陽平
幹事 大畑好司
会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327



第2933回例会 2024. 11. 21 No.19

本日の出席率

・本日の出席率 66.32%

ニコニコボックス

- ・太田陽平会員 山田正会員、本日の卓話よろしくお願ひします。期待しております。
 - ・山田正会員 本日のスピーチを担当します。よろしくお願ひ致します。
 - ・菅野幸一郎会員 山田正会員のスピーチにご期待致します。
 - ・高田次雄会員 東北の脊梁、栗駒山脈、冬化粧を始めました。そろそろ本気の冬を肌で感じる今日この頃です。共に冬支度を。山田正会員、スピーチ勉強させて下さい。
 - ・杉田広仁会員 ドジャースの大谷、MVPどうですか、楽しみです。
 - ・及川富男会員 山田正会員のスピーチに期待します。
 - ・伊藤秀雄会員 山田正会員、卓話楽しみにしております。
 - ・大畑好司幹事以下 本日のスピーチに期待して。
佐々木崇会員 阿部泰彦会員 千葉吉男会員
佐竹孝行会員 遠藤光則会員 猪股育夫会員
佐々木源悦会員 高橋利光会員 布施孝尚会員
菅原慶一会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
武川毅会員 及川昭宏会員 佐藤早智子会員
千葉正宏会員 加藤亮会員 佐藤利尚会員
村上正弘会員 千葉正洋会員
- 以上、ありがとうございます。

会長要件 太田陽平会長

栗駒山が雪景色となり、早足で冬がやってきて、佐沼も氷点下になりました。私は毎朝犬と遊んでおりま

すが、餌の入っている缶が凍っていることもありました。皆さんはスタッドレスタイヤに交換しましたか？スタッドレスタイヤの寿命について気にしたことがありますか？

スタッドレスタイヤについて調べましたので、お話したいと思ひます。

冬の期間だけ使うスタッドレスタイヤにも寿命があります。スタッドレスタイヤの寿命は平均して3~4年と言われてはいますが、使用条件や保管状況によって左右されます。

スタッドレスタイヤは低温下でも硬くなりにくい柔らかいゴムが特徴で、雪道や凍った路面に密着することで安定した走りができるように作られています。タイヤに傷がなく溝がしっかりとあつたとしても、ゴムが劣化して硬くなっていると本来の性能を発揮できず、雪道を安全に走らせることができません。その時が交換の時期です。

スタッドレスタイヤの寿命は走行距離などの使用状況や保管状況によっても変わります。走行距離だと、32,000kmを超えたり、新品から4~5年経過したなど、ゴムの劣化は見た目では判断が難しいので、スタッドレスタイヤを装着する前にガソリンスタンドやカー用品店などでタイヤの状態をチェックしてもらうことをおすすめします。しっかりと管理していただきたいと思ひます。

さあ、本格的な冬を迎える前にタイヤ交換をして安全運転を心がけましょう！

11月24日(日)には、次世代奉仕委員会の事業、「第48回佐沼ロータリークラブ旗・第10回宮城登米リトルシニア杯争奪少年少女野球大会」が開催されます。子どもたちの日頃の練習の成果を発揮する大会となりますので、会員の皆さん、是非応援にかけつけていただきたいと思ひます。

幹事報告 大畑好司幹事

- ・登米市社会福祉協議会より
「ハッピー・メリー・クリスマスパーティー」実施に伴う後援の依頼(名義の使用・協賛金の協力)
日 時 12月14日(土) 10:00~12:00
場 所 ホテルサンシャイン佐沼

各委員会報告

- ・次世代奉仕委員会(佐藤利尚委員長)
11月24日(日)、11月30日(土)に少年少女野球大会を開催します。寒い中での開催ですが、寒さ対策の上、子供たちへの応援、運営のお手伝いをお願い致します。尚、昼食準備のため、最終の出欠確認をしています。

今週のスピーチ

「原子燃料サイクル施設(六ヶ所原燃)」
山田 正会員

本日は6月に視察した青森県六ヶ所村の「六ヶ所原燃」について述べさせていただきます。画像を見ていただきながら進めますので、よろしくお願ひ致します。

原子燃料サイクル施設は原子力発電で、燃料として使用した核廃棄物の保管・再処理・埋設を行い、又、原子力発電の稼働や廃炉どちらにも関わる重要な施設となります。

以前、セメント輸送で関わった私共としては、既に六ヶ所原燃は完成して稼働中の施設と思ひ込んでいましたが、様々な規制や条件のクリアで、進捗は必ずしも順調でなく現在、試験稼働が殆どの現場でした。又、一般的には馴染みのない施設ではありますが、地球温暖化にも関わる施設ですので、これを機会に興味を持って頂ければ幸いです。

○六ヶ所原燃は、六ヶ所村の南北33km・東西14kmに位置し、一つの町の様でした。

六ヶ所村は、鎌倉時代、源頼朝が軍馬調達の為、役人を派遣したその様子が地名となったようです。

宿泊地の泊、馬の調達の出戸、馬の尾がマダラ模様で付いた地の尾駈、馬の背丈が狩の待機場程に高い鷹架、平らな馬の背に似た沼の平沼、馬の鞍を作った倉内の六つの村が明治22年の町村制度の施行で、下北半島に「六ヶ所村」が誕生しました。

尾駈レイクタウンは「次世代型エネルギーパーク」構想として、12種類の事業・構成団体により地域開発に貢献する計画です。

○会社概要

1992年「日本原燃サービス」と「日本原燃産業」が合併、「日本原燃」として発足。資本金4,000億円、売上高1,828億円(2022年)、従業員3,101名(2024年4月)規模の企業となっています。

○原子燃料サイクル施設の立地経緯

1. 1969年「全国総合開発計画」が閣議決定
2. 1984年 六ヶ所村に原子燃料サイクル3施設(濃縮、埋設、再処理)の立地申し入れ
3. 2010年 順次着工、試験操業で現在に至る

○地域との関係(地域の活性化と地場産業の振興貢献)

1. 社員の地元採用による雇用拡大

- ・2024年4月社員総数 3,101名
- ・65%が青森県出身者
- ・今年度新入社員84名の内、青森県出身者62名
- ・青森県の定住拠点として発展を遂げる

※青森県の出発施設は次の通りです。

- ①大間原発
- ②東通原発
- ③原子燃料サイクル
- ④六ヶ所原燃

4つの原子力施設が稼働しています。

2. 協会の現状、地元企業への発注
 - ・地元協力会社数 約1,200社
 - ・地元就労者数 約8,000名
 - ・2022年度地元発注額 累計9,991億円
3. 地元企業との共存共栄に向けた取り組み
 - ・地元と一体の工場運営
 - ・参入企業の見学会の継続
4. 地域の活性化と地場産業の振興に貢献
 - ・電力会社を通じた県産品消費拡大と促進
 - ・地域との交流(ふれあいコンサート、ジュニアロボットコンテスト等の開催)

○原子燃料サイクル(仕組み)

1. ウラン鉱石: カナダ・オーストラリア・英国等より輸入、日本では岐阜県にウラン鉱石がある。
2. 製錬工場: ウラン鉱石を精鉱(イエローケーキ)
3. 転換工場: イエローケーキを六フッソ化ウランに精製
4. ウラン濃縮工場: (遠心分離機の回転) 六フッソ化ウラン235の含有率を高めて原子燃料を精製
5. 再転回工場: 高濃度六フッソ化ウランを粉末状に化学処理して二酸化ウランに転換
6. 成型加工工場: 粉末状ウランを高温で焼き固めたペレットを被覆管に詰め、更に束の集合体に組立て完成させる。
7. 原子力発電所: 燃料として使用し、発電
8. 再処理工場: 高レベル放射性廃棄物をステンレスキャニスター(高さ1.8m、直径0.4m)で保管
9. 低レベル放射性廃棄物センター: 300ℓドラム缶で300~500年保管
10. MOX燃料工場: ウラン・プルトニウムの混合酸化物燃料をつくる。

○高レベル放射性廃棄物貯蔵センター

1. 貯蔵管理期限: 30~50年間、中間貯蔵、最終処分は地下300m超に処分する(場所未定)
2. 人が立っても影響ない程度、天然ウラン並に放射能を低減する。核分裂生成物を溶かし、固化ガラスに固めたものをステンレス容器で密封する。

○使用済燃料受入貯蔵施設(水槽で冷却貯蔵)

- 事業開始 1999年12月、受入容量 3,000 t・U
現状(2024年6月末現在)
受入容量(累計)約3,393t・U 在庫 約2,968t・U
差の425 t・Uはアクティブ試験(2006~2008年)で再処理済となっている。

— 紙面の都合上、一部割愛させていただきました。